

豊丘町老人クラブ及び邑守の里花の会の2団体と「信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)」協定書の締結を行いました。

平成27年2月23日(月)当所所長室において、豊丘町老人クラブ及び邑守の里(むらもりのさと)花の会、須坂市長と協定書を締結しました。



須坂市

藤池所長

奥原まちづくり推進部長

邑守の里花の会

豊丘町老人クラブ

中島会長

井浦副会長 西田会長

※「アダプト」とは「養子縁組をする」という意味です。地域住民団体等が道路などの公共スペースを養子のように愛情をもって面倒をみる(清掃・美化活動)ことから命名されました。自治体(道路管理者)と住民団体等がお互いの役割分担について協定を取り交わし、ボランティアで歩道・植樹帯等の美化活動を継続的に進める制度です。

もともとは、1985年、アメリカでハイウェイのボランティア清掃活動として始まり、日本では1998年に初めて導入され、その後急速に普及が進みました。

長野県では、平成26年2月末現在で299団体、当所管内では13団体が活動しています。